

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 2 日 (2005.12.2)

【公開番号】特開 2002-67283 (P2002-67283A)

【公開日】平成 14 年 3 月 5 日 (2002.3.5)

【出願番号】特願 2000-265073 (P2000-265073)

【国際特許分類第 7 版】

B 4 1 J 2/01

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】表層に熱可塑性樹脂粒子を含むインク受容層を有する記録媒体に対してインクを吐出して記録を行う記録ヘッドと、記録媒体を加熱加圧して該記録媒体のインク受容層を透明化する加熱加圧手段と、該加熱加圧手段の温度を所定の温度範囲に保持する温度制御手段と、前記記録ヘッドにより記録の行われた記録媒体を前記加熱加圧手段まで搬送する記録媒体搬送手段とを有するインクジェット記録装置において、前記加熱加圧手段が、記録媒体の幅方向に分割された複数の発熱体を含んで構成され、前記温度制御手段は、該複数の発熱体のそれぞれを独立に制御可能としたことを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 2】前記複数の発熱体は、その長さ方向が記録媒体の幅方向に沿い且つ隣接する発熱体の端部同士が互いに重なるように並設されていることを特徴とする請求項 1 記載のインクジェット記録装置。

【請求項 3】前記温度制御手段は、加熱加圧する記録媒体の幅に応じて、前記複数の発熱体の制御を変更することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のインクジェット記録装置。

【請求項 4】表層に熱可塑性樹脂粒子を含むインク受容層を有する記録媒体に対してインクを吐出して記録を行う記録ヘッドと、記録媒体を加熱加圧して該記録媒体のインク受容層を透明化する加熱加圧手段と、該加熱加圧手段の温度を所定の温度範囲に保持する温度制御手段と、前記記録ヘッドにより記録の行われた記録媒体を前記加熱加圧手段まで搬送する記録媒体搬送手段とを有するインクジェット記録装置において、前記記録媒体の幅が相対的に狭いときには該記録媒体の搬送方向の単位長さ当りの記録時間を相対的に短くすると共に、前記加熱加圧手段における加熱加圧時間を相対的に短くし且つ前記温度制御手段による前記加熱加圧手段の保持温度を相対的に高くすることを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 5】前記加熱加圧手段は、前記記録ヘッドにより記録の行われた複数の記録媒体を並列に並べて同時に処理可能な幅を有し、前記温度制御手段は、同時に加熱加圧する記録媒体の数、各記録媒体の幅及び各記録媒体が接触する加熱加圧手段の幅方向の位置に応じて、前記複数の発熱体の制御を変更することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のインクジェット記録装置。

【請求項 6】表層に熱可塑性樹脂粒子を含むインク受容層を有する記録媒体に対してインクを吐出して記録を行う記録ヘッドと、記録媒体を加熱加圧して該記録媒体のインク

受容層を透明化する加熱加圧手段と、該加熱加圧手段の温度を所定の温度範囲に保持する温度制御手段と、前記記録ヘッドにより記録の行われた記録媒体を前記加熱加圧手段まで搬送する記録媒体搬送手段とを有するインクジェット記録装置において、前記加熱加圧手段は、前記記録ヘッドにより記録の行われた複数の記録媒体を並列に並べて同時に処理可能な幅を有し、同時に加熱加圧する記録媒体の列数が相対的に少ないときは前記記録媒体の搬送方向の単位長さ当りの記録時間を相対的に短くすると共に、前記加熱加圧手段における加熱加圧時間を相対的に短くし且つ前記温度制御手段による前記加熱加圧手段の保持温度を相対的に高くすることを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 7】前記加熱加圧手段は、前記記録ヘッドにより記録の行われた複数の記録媒体を並列に並べて同時に処理可能な幅を有し、種類の異なる複数の記録媒体を同時に処理する際には、記録媒体の加熱温度が各々の記録媒体の種類に応じた最適値となるよう、前記温度制御手段は前記複数の発熱体の制御を行うことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のインクジェット記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

請求項 4 記載の発明は、表層に熱可塑性樹脂粒子を含むインク受容層を有する記録媒体に対してインクを吐出して記録を行う記録ヘッドと、記録媒体を加熱加圧して該記録媒体のインク受容層を透明化する加熱加圧手段と、該加熱加圧手段の温度を所定の温度範囲に保持する温度制御手段と、前記記録ヘッドにより記録の行われた記録媒体を前記加熱加圧手段まで搬送する記録媒体搬送手段とを有するインクジェット記録装置において、前記記録媒体の幅が相対的に狭いときには該記録媒体の搬送方向の単位長さ当りの記録時間を相対的に短くすると共に、前記加熱加圧手段における加熱加圧時間を相対的に短くし且つ前記温度制御手段による前記加熱加圧手段の保持温度を相対的に高くすることを特徴とするインクジェット記録装置である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

請求項 6 記載の発明は、表層に熱可塑性樹脂粒子を含むインク受容層を有する記録媒体に対してインクを吐出して記録を行う記録ヘッドと、記録媒体を加熱加圧して該記録媒体のインク受容層を透明化する加熱加圧手段と、該加熱加圧手段の温度を所定の温度範囲に保持する温度制御手段と、前記記録ヘッドにより記録の行われた記録媒体を前記加熱加圧手段まで搬送する記録媒体搬送手段とを有するインクジェット記録装置において、前記加熱加圧手段は、前記記録ヘッドにより記録の行われた複数の記録媒体を並列に並べて同時に処理可能な幅を有し、同時に加熱加圧する記録媒体の列数が相対的に少ないときは前記記録媒体の搬送方向の単位長さ当りの記録時間を相対的に短くすると共に、前記加熱加圧手段における加熱加圧時間を相対的に短くし且つ前記温度制御手段による前記加熱加圧手段の保持温度を相対的に高くすることを特徴とするインクジェット記録装置である。